

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身かご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

1987年1月から2019年4月の期間、虎の門病院消化器外科で、食道悪性黒色腫の診断を受け、外科的切除を受けた方

【研究課題名】

切除可能な食道悪性黒色腫における予後因子の探索

【研究の目的・背景】

食道悪性黒色腫は、食道悪性腫瘍の0.1-0.2%といわれる非常に稀な疾患です。その予後はきわめて不良であり、外科的切除後5年生存率は5%未満とされ、近年の報告でも依然その成績に大きな改善は見られていません。疾患の稀少性ゆえ、治療戦略の明確なコンセンサスが得られておらず、切除可能症例でも、施設ごとそれぞれで多種多様な治療法が展開されているのが現状です。

本研究では、食道悪性黒色腫外科的切除症例の臨床病理因子、実施治療および長期予後を後方視的に解析し、その特徴、さらには予後因子を明らかにすることを目標とします。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年2月10日～2020年8月1日

【単独／共同研究の別】

単独施設研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院 消化器外科 上野正紀 のもと研究終了から10年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報を虎の門病院外へ提供することはありません。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、腫瘍深達度、リンパ節転移、臨床病期、術後病理組織学的所見、術後合併症、治療経過、術後経過など

【研究責任者】

虎の門病院 消化器外科

住所：105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2

研究責任者：上野 正紀

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族が診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族が、診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020年6月1日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器外科 浦辺雅之

電話 03-3588-1111(代表)